

ていざなすの特産化で村おこしを目指す事業

取り組みに至る背景・事業の目的

平成19年から「ていざなす」の生産を本格的に始め、村内外に約5,000本のなすを出荷し、知名度も徐々にではあるが知られるようになってきた。また、同じく平成19年には、「信州の伝統野菜」にも認定され、「ていざなす」に対する期待が高まっている。そこで、村をあげて「ていざなす」特産品化を目指し、村おこしの起爆剤とする。

事業内容

- 「ていざなす」の品質向上と安定生産・出荷に向けて栽培技術の確立を図るべく、栽培講習会を実施する。
- 商標出願・登録による地域財産の保護を図る。
- 販売促進のため、各地で直販・PRを実施し、消費拡大を図る。
- 消費拡大のための料理研究会・講習会を実施する。
- 遊休農地を積極的に活用する。

事業効果

- 商標「ていざなす」が登録されることとなり、知的財産の保護が図られた。
- 出荷量目標の7,500本をクリアし、8,000本を出荷することができた。
- 料理研究会・講習会を実施し、「ていざなす」ミニレシピ集を作成した。
- 温泉ホテル、JA、道の駅、村内の売店等での販売により、消費拡大が図られた。
- 遊休農地の活用 (H18年5a→H20年30a)

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 生産・出荷量の更なる拡大を目指す。
- 品質確保と生産量アップのため、栽培技術の向上を図る。
- 消費拡大のため、「食べ方」と抱き合わせで新たな販路拡大に努める。
- 生産者所得の向上のため、売価の安定を図っていく。

【選定のポイント】

住民協働による着実な取り組みにより、信州伝統野菜である「ていざなす」の知名度向上とブランド化につなげている。



団体名 天龍村ていざなす生産者組合 (天龍村)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 電話 0260-32-2720	事業費	540,714円
メールアドレス tkanada@khaki.plala.or.jp	支援金額	331,000円